

お答えしましょう！徳島市立高等学校版

柴原 智幸

ご質問をお寄せいただきまして、ありがとうございました！質問はいつでも大歓迎です。私の話の途中でも構いませんから、気になったことはどんどんお尋ねください！

Q1 語学学習において大切なポイントは？

A1 2つあります。一つ目は、「語学を身に付けてどんなことがしたいのか」を考え続けることです。「考える」ではなく、「考え続ける」というところが大事ですよ。何しろ、皆さんはまだ高校生で、英語を本格的に学び始めてから数年ですからね。「考える」にしても、その土台となる情報、知識、世界観などが確立されていません。「こういうことがしたいから、英語をやるんだよね」と思ってから半年も経たないうちに「何であんなこと考えたんだろ。考えが浅かったなあ」などと思うことは、当然あり得ますからね。

もちろん、「最初に考えたことが全くぶれてない。やはり俺の考えは正しかった！」と確信を深めることもありますよ。でも、それはケースとしては少数派でしょう。ほとんどの人は、「こうかなあ、でも、やっぱりこっちかもしれないし」と惑うもので、逆にそういうことがないのは、ちょっと心配です。成長していない可能性がありますから。

二つ目は、「何を対価として支払うか」をしっかりと考えておくこと。今までと同じことをして、新たに何かを身に付けるということは、さすがに虫が良すぎますよね。

自分の「自由時間」「気力」「お金」「他教科を勉強する時間」などなど、何かを手に入れようと思ったら、その対価を支払う覚悟が必要です……とは言っても、「学ぶこと」は、支払った対価以上の絶大なリターンがありますので、安心してつぎ込んでみてください。

Q2 英語の効率的な勉強法は？

A2 うーん、よくある質問なんですけれども、たいていの場合、こういう質問をなさる方は、「そもそも勉強をしていない」ということが多いんです。ですので、「とりあえず、まず5分間だけでも良いから、何か勉強に取り組んでみる」ということが、結果的に一番「効率的」な「方法論」になると思うんですよ。

サッカー部でも野球部でも、吹奏楽部でも良いんですけれども、みんなで集まって「どの練習法が効率的かな？」と考えてばかりいるクラブって、どう思いますか？それよりもとりあえず、体を動かしたり楽器を演奏したりすることから始めてみると良いと思います。

「こういう部分をさらに強化したいなあ」「こういうことが出来ればなあ」という思いが湧いてくるはず。方法論を求めるのは、それからでも十分間に合います。

Q3 暗記と実践、大切なのはどちらですか？明日からでも出来る実践方法がありますか？

A3 ……という質問をするということは、そもそも暗記がしたくないのかな？面倒くさいから（笑）。あんまり聞きたくない答えかもしれないけれどもですね、両方とも大事です。

暗記は「インプット（自分の中にいろいろなものを入れる）」、実践は「アウトプット（自分の中に入れたものを出す）」ですが、水筒から水を注ぐことを思い浮かべてください。水筒から水を注ぐ（出す）には、まず水筒に水を「入れて」おかないとだめですよ。何も入れないで、水筒を傾けたり逆さにして振ったりしても、無駄というものです。暗記と実践の関係も、それと同じなんです。車の両輪だと考えてください。

Q4 英語は暗記教科？効率的な暗記方法は？

A4 暗記教科という側面もあります。ですが、暗記という「インプット」だけではなく、先ほど述べた通り「アウトプット」も大事になりますので、単なる暗記教科とは違います。スルッと頭から出てくるように、アウトプットを鍛えることも必要なのです。

そして、「効率的な暗記方法は？」とのことですが……ちょっと厳しいことを言いますよ。良いですか？

つべこべ言わず、どんなやり方でも良いですから、1週間真剣に取り組んでください。

ちょっとネットを見るだけで、暗記方法なんて星の数ほど見つかります。ではなぜそんなに多くの暗記法があるのでしょうか。

みんな、何かを覚えようと真剣に努力していないからです。

もちろん私が効率的だと思う暗記法はありますが（後でご説明します）、実際に取り組まない限りは、どんな素晴らしい方法も成果をあげることはできません。

Q5 留学と英会話教室、どちらが効果的ですか？

A5 自分の勉強の進み具合によります。英会話教室が「スイミングスクール」だとしたら、留学は「海」みたいな感じでしょうか。

実際の海には、プールにはない潮の流れがあったり、もちろん足が立たなかったり、急に温度が変化したり、クラゲに刺されたりと、いろいろな厳しい条件があります。でも、本来「泳げる」というのは、そういう環境で、溺れずに目的地まで到達できることのはずです。

そうは言っても、泳げない人をいきなり深い海に放り込んだところで、沈んで終わりですね。手足の動かし方や息継ぎの方法を、安全な環境のもとで効果的に身に付けることが出来るという意味で、スイミングスクールは大変効果的です。

でも、足がつくからといって真剣に取り組まなかったら、その効果的な側面を生かしきれないですよ。英会話スクールで「今日はショッピングの時の会話に挑戦しましょう」と言われても、「まあ、でもこれ、しょせん作り事だしなあ。言いたいこと言えなくても、別に困らないし」などと考えていたら、あまり効果はありません。

腕試しとして「海」で泳いでみる、つまり「短期留学」などに取り組んでみて、そこでの反省を踏まえて「スイミングスクール」、すなわち「英会話教室」で弱点克服に取り組む、などという形で学ぶのも良いのではないかと思います。

「留学」を「ALTの先生」、「英会話教室」を「日本人の先生」と考えても、同じことが言えると思いますよ。

Q6 英語が苦手で楽しくなく、好きになれない。得意（好き）になるためには？

A6 良いじゃないですか、別に好きになれなくても。ほかにもたくさん教科はあります。でも、「得意」になりたいのなら、一定の努力をすることは絶対に必要です。「好きになれない」のは「英語」なのですか？それとも「努力」なのですか？
そこを掘り下げて考えることから、いろいろ見えてくるものがあると思いますよ。

Q7 英語は毎日勉強すべきですか？

A7 はっはっは、そんなことはありませんよ。1学期に3日ぐらいで十分です……とでも答えて欲しいのかな？（笑）

真面目に答えるとすると、やはり Yes です。でも、毎日何時間も勉強する必要はありません。ちょっとで良いんです。単語などは、5分10分の隙間時間を使って覚えればいいです。1週間に1度3時間勉強するよりは、毎日15分勉強したほうが、記憶も薄れないですから、まずはそのぐらいの低いハードルから始めてみましょう。

続けているうちに、勉強が面白くなってきたら、しめたものです。面白くならなくても、毎日コツコツとやっていれば、最小限の時間で最大限の効果が（と言っても、限度はありますよ）望めるというものです。

Q8 英語と一緒に習得しやすい言語は？

A8 いわゆる「言語距離が近い」、ヨーロッパの諸言語だと言われています。ただ、似ているだけに、逆に頭の中がゴチャゴチャになることもありますよ。faux ami などもありますからね（ここで面倒くさがらずに辞書で調べる人は、大丈夫だと思いますが！）。

Q9 英語と日本語で似ているところはありますか？

A9 うーん、ヨーロッパの諸言語と比べると、やはり「言語距離が遠い」ので、あまり思いつきませんね。でも、だからこそ英語に取り組みながら日本語についての考えが深まることも多いのです。通訳・翻訳をしていると、特にそう思うことが多いですね。

Q10 得点力アップのためにはどの分野を勉強すれば得意になりますか？

発音・アクセントの問題は、どうすれば得意になりますか？

英語の勉強で優先してやるべきことは？

A10 ま、気持ちは分かりますが、とりあえず勉強を始めましょうね。話はそれからだと思います。人それぞれで、一概に「こうだ」と回答できないタイプの質問ですけれども、勉強をしていくうちに、自然と自分なりの答えが見えてきますよ。

逆に今、「あなたに必要なのはこれ！」などと言われたところで、そこでスッキリしてしまって、勉強をしないのではないかなあ、と思うのですが……。

そういう不安を覚えつつ、「発音・アクセント」に関して、ちょっとだけお答えしますが、「文字」と「音」をリンクさせることです。手持ちの単語集の付属CD、いまだに開封されていない、なんてことはないですか？

Q11 英語の文法はどのように勉強（復習）すればいいのか？

A11 「分かった」というところで勉強をやめてしまうと、使いこなせる「スキル」になりません。先生の説明や参考書の記述を読んで「なるほど」と思ったら、その文法事項を使って、英文を作って口にしてみましょう。通学の途中などに、2文でも3文でもブツブツ呟いてみる。そこで何か疑問が湧いたら、先生に質問に行く。そしてまた文を作ってみる。この繰り返しで単なる「知識」だったものが定着し、「技」、つまり自分が使いこなせる「スキル」へと昇華していきます。

Q12 柴原流勉強法は？

A12 いやあ、そんなものがあれば、とっくにそれで大儲けしていますよ（笑）。私は机に向かうのが結構苦手だったもので、それ以外のあらゆることをやっていました。学生たちには「のたうち回る」という表現を使っています。

役に立ちそうなものには片っ端から手を出し、でも根気も根性もないので結局放り出し、でもやっぱりあきらめきれないで、またあれこれやってみるけれども、自分の能力のなさに絶望し、それでも夢を捨てきれずしがみついて……という感じですね。

でも、おそらくそれが、目標に向けての私なりの最短距離だったんだろうなあと思います。そして、みなさんには、皆さんなりの「正解」があるはず。

ただ、「なににも勉強しない」という勉強法を追い求めているかどうか、それだけは気を付けてくださいね。さすがにそんな都合のいい勉強法はありませんよ。

Q13 英語を勉強するまたは話したり聞いたりするうえで一番大切にしていることは何ですか？

A13 コミュニケーションはよく「キャッチボール」に例えられます。ですので、自分のメッセージが、ちゃんと相手に届いているかな、相手のメッセージを、ちゃんと受け取れているかな、ということにはいつも注意を払っていますね。

Q14 文法を150個覚えるのと、単語を1500個覚えるのではどちらが大切ですか。

A14 ちょっと質問の意図がよく分からないのですが、英語学習は「あれかこれか」ではなくて、「あれもこれも」ですよ。150と1500という数の根拠もよく分からないのですが、まあとりあえず、文法事項の例文15本、単語を150個覚えるところから始めてみませんか？迷っている時間があったら、その分前進していこうじゃないですか。

Q15 模試の判定でDだった大学に合格されたとのことですが、どのような勉強法で取り組んできたのですか？

A15 いや、すみません。机にきちんと向かうタイプの、正統派な勉強が苦手だったので、特にこれと言っては。高校がいわゆる進学校だったので、授業で教えていただいたことが、ほぼすべてだったと思います。

なお判定についてですが、ある予備校の先生がおっしゃっていたのは、「D判定で合格率20%だということは、確率的には5人受験したら1人は受かる、ということでもあ

る」、と。逆に「たとえ A 判定で合格率 80%であっても、確率的には 5 人受験したら 1 人は落ちる、ということでもある」のだそうです。私の場合、まあたまたま幸運な 1 人の方に入っていたということで、それ以上でもそれ以下でもないと思っています。

Q16 英検と TOEIC の違いは？

英検と TOEIC では TOEIC の方が実用的と聞いたことがあります、どちらの資格を持っている方が良いですか？

A16 受験を考えているのであれば、そしてその部分に疑問があるのであれば、まずはそれを調べることから受験準備を始めてみましょう。自分で出来ることは自力で行くと「自分の人生を自分で切り開いている」感があって、なかなか楽しいですよ。

でもね、個人的には「ゴチャゴチャ考えてないで、とりあえず両方受験してみればいいんじゃないかな？」と思います。ネットには、詳細な説明があるかもしれませんが、もしも、しよせん「他人がこう感じた」ってことですし。

それに、大事なのは資格試験を通して自分の実力を証明することであり、さらに言えば、胸を張って証明できるような英語力をつけることではないですか？

限りある時間や気力は、傾けるべきポイントに一点集中すると、壁を突破できます。

Q17 英検に合格するには、どのような勉強をすればいいですか？

英検準 1 級に合格した時、どうやって勉強していたのですか？

A17 まず申し上げたいのは「テスト対策」と「本来の英語学習」は違う、ということです。個人的には、よほどの事情がない限り、「勉強が本業」である学生が「対策」をするというのは「邪道」だと思います。きつい言い方になってしまって、すみませんけれども。

やるべきなのは、あくまで「英語の勉強」です。それをきちんとやっていけば、資格試験の方の結果は、自然とついてきます。

たとえば、授業をきちんとこなして、好きなトピック（スターの話でも、ファッションでも、スポーツでもなんでも構いません）に関して英語を聞いたり読んだり話したり書いたり（英語でブログを書いてみると良いですよ）しまくること、ですね。私はそうやって、高校 3 年生の時に準 1 級に合格しました。

スポーツに例えれば、「対策をして取った点数（合格した級）」は「ドーピングして出した記録」と同じです。資格試験に合格することを励みに英語を学ぶのは良いのですが、手段と目的が逆になって、「合格さえできれば手段は問わない。『これさえやっておけば十分』みたいなことを教えてほしい」と感じているのだとしたら、まずはその考えの修整から始めるべきでしょうね。

私は高校 3 年生で準 1 級に合格しましたが、それから 1 級に合格するまで、何と 8 年もかかりました。途中で英語の勉強をサボっていたのが主な理由ですが、いわゆる「対策」のようなものをして、「形だけ」合格することに意味を見いだせなかったのも、理由の一部です。「何の準備もなく、『素』で受けて合格」してこそ、本当に「1 級の実力がある」と言えるのだと思っていました。

資格試験はゴールではなく、英語学習のモチベーションをあげる材料の一つであり、学習のペースメーカーに過ぎない。そう考えて「やるべき努力を重ねる」人の方が、結果的に資格試験でも良い成果を残せるように思います。

Q18 微妙に綴りが違う単語を、どうやって覚えたらいいですか？

A18 微妙に書き方が違う漢字を覚えるのと、全く一緒です。反復練習一択ですね。でも、個人的にはスペリングを覚える前に、結構いい加減に覚えているものも多いんですよ、実は。

ちょっと小難しい話をしますと、語彙（ボキャブラリー）には「受動語彙（聞いたら分かる、読んだら分かる）」と「能動語彙（話すときに使える、書くときに使える）」の2種類があります。

当然、能動語彙よりは、受動語彙がはるかに多くなります。そして、受動語彙となった語句に何度も触れる（発音したり、目で読んだり、手で書いたり、耳で聞いたり）していくうちに、能動語彙になっていくのです。

そんなわけで、まずは「知らない単語を『受動語彙』にすること」に力を注ぎましょう。テストではスペリングも厳しく見られるかもしれませんが、まず、文字を見れば意味が分かる、音を聞けば意味が分かる、という状態を目指し、それから正確な綴りを覚えるのでも遅くはありません。

Q19 効率の良い、おすすめの単語・熟語の覚え方、コツは？

A19 単語の「音」と「文字」と「意味」を結び付けて行くわけですが、最初は単語の「音」と「意味」、「文字」と「意味」を結び付けて行くと良いと思います。それには「クイック・レスポンス」と呼ばれる方法が効果的です。

まず、単語の発音をチェックします。単語集の付属のCDを活用すると良いでしょう。

続いて、単語の意味をチェックします。単語集なら、そのまま使えますよね。

そこまで言ったら、英語を見たら「即座に」日本語が口に出せるように、日本語を見たら「即座に」英語が口に出せるように、反復練習を行ないます。「ユメタン」であれば、CDが「日本語→英語」の順に、ほんの少しポーズを置いて録音されていますので、それに遅れずについて行けるようにしましょう。数回のチャレンジであきらめないで。

100語ぐらいでも5分ほどしかかかりませんので、一日に数回チャレンジします。朝に2回、お昼ご飯を食べた後に2回、寝る前に2回。これを1週間続けると、100語ぐらいすぐに頭に入ってしまうですよ！

Q20 書いて覚えるのと書かずに覚えるのは、どちらが良いと思いますか？

Q20 わはははは！「わざわざ書く必要はないよ」って言ってほしいって感じですね。結論としては、どちらでも構いません。でも、一定の時間を費やさなくてはだめです。ここが大切です。単に「書かないほうが楽そうだなあ」と思っている人は、往々にして何もしません。それではどうにもならないのは、分かりますよね。

ただ、書くのは時間がかかり取られるので、CDなどを使ってクイック・レスポンス練習をするのが良いのではないかなと、個人的には思います。リスニングに直接役立ちますし、リーディングにもいい影響がありますしね。

Q21 英会話、日常会話が出来ようになるためには何をすればいいですか？

外国人の人と英語で話が出来ようになるための、一番の勉強法は？

A21 ざっくり言って2つあります。まず、『話したいこと』を明確に意識すること。そして、『話したいこと』を伝えるために必要な文法・語句などを身に付けて行くことです。

単に会話練習を繰り返すだけでは、あまり力はずきませんよ。

Q22 円滑にコミュニケーションをとるために大切なことは、何ですか？

外国の人とコミュニケーションをするうえで、難しいことや伝わりやすい方法などがありますか？

A22 話し相手に依存しないで、自分のコミュニケーションには自分で責任を取ること、でしょうか。

日本語のコミュニケーションだと、穴埋め問題的と言いますか、文としては不完全なメッセージを発信して、聞き手にそれを埋めてもらう、ということが基本ですよ。

日本語ではそれで構わないのですけれども、英語では必要な情報をすべてこちらで用意する必要があります。

たとえば、日本語では「あー、疲れた」でOKなのですが、英語では主語や動詞などをきちんと言う必要がありますよね。

基本的に「自分は相手のことを知らないし、相手も自分のことを知らない」という状態を前提に、どうやったら話し相手をメッセージのキャッチボールが上手にできるかを考えてみると良いのではないかと思います。

Q23 分からない単語で質問されると言葉がつまり、会話が止まってしまいます。どうすれば発音が良くなり、リスニング力があがってしまいますか？

どうすれば動揺した時に落ち着いて英語を話すことができますか？

A23 いくつかの問題が組み合わさっていますので、一つ一つお答えします。分からない言葉で質問されると、上手く対応できないのは当然のことです。その場合、「知ったかぶり」をしないことが大切です。聞こえた通りにマネして「〇〇って、どういう意味ですか？」と尋ねてみましょう。それでも分からなかったら、紙に書いてもらって辞書で調べる。電子辞書に入っている英英辞典を使って、一緒に辞書を引くのも良いですね。

また、発音ですが、これはCDなどでお手本の英語を聞いてみて、それを出来るだけ正確に真似してみます。そしてある程度練習して、「まあまあかな」と思ったら、自分の発音を録音して、お手本と聞き比べてみてください。どこが弱点か分かりますよね。それを踏まえてまた練習します。そうやって発音を鍛えて行くと、リスニング能力も上がります。

「口に出せる音は聞き取れる」からです。

何しろ日常生活では使わない「外国語」でコミュニケーションをするわけですから、緊張したり動揺したりするのは当然です。それを無くそうとするのではなく、「緊張したり動揺したりしながら、どうやってコミュニケーションを続けるか」を考える方が良いと思いますよ。

Q24 出川さんは、なぜ英語が出来ないのに現地の人に通じるんですか？

A24 調べてみましたが、出川哲朗さんのことですね。動画も見ました。

結論から言うと、理由は2つあって、「出川さんのコミュニケーション能力が高い」ということと、「そもそもミッションが簡単」ということです。

まず、コミュニケーションには大きく分けて「言葉によるコミュニケーション」と「言葉以外によるコミュニケーション」があります。出川さんは後者が非常に上手なんですね。言葉がなくとも、何となく何が言いたいのかざっくりと伝わる。「困ってるんだろなあ」とか「犬にあっちに行ってほしいんだろなあ」とか「このシャツが買いたいんだろなあ」とか。とにかく、「あなたに何とか分かって欲しいんだ」という姿勢がにじみ出ていますね。

でも、それだけではなく、ミッションそのものが比較的単純で、あまり言語能力を要求しない、というのも事実だと思います。外国で生活してみるとすぐわかりますが、買い物は、基本的に黙っていても出来るんです。欲しいものを指さして、値段を見て、お金を払うだけ。文法などは基本的に必要ありません。単語を何度も繰り返すだけでも可能です。

これが「昨日クレジットカードで買った商品に、ひび割れがあったので、同じ値段の別の品物と交換してほしい」などというミッションだったら、ある程度の言語能力がなければ絶対に不可能でしょう。

Q25 どうすればリスニングの力が付きますか？

英語を聴いてすぐに理解するにはどうしたらいいですか？

日本にいる状況で英語を聞く耳を育てるには？

A25 単に「聞き流す」「音に慣れる」だけでは、聞き取れない部分はずっと聞き取れないままです。これはつまり、たとえ留学したとしても、ボーッとしていたらリスニングはある程度伸びたら頭打ちになる、ということですよ。

リスニング力を鍛えるには、基本的には「弱点を洗い出す」「弱点を音声トレーニングで潰す」という2点が柱になります。

まず、ディクテーションしてみましょう。英文を一字一句書き取ります。そして、英文スクリプトと突き合わせて、どこが聞き取れなかったのか、どこを聞き間違えたのかをチェックします。そして、なぜ聞き取り損ねたのかを確認します。音の変化に耳がついて行かなかったのか、そもそも単語や熟語などを知らなかったのか、などです。

そうやって弱点を分析したら、それを「シャドウイング」「オーバーラッピング」「音読」などの音声トレーニングを繰り返すことによって、「お手本と同じように口に出せるように」して、弱点をつぶしておきます。

そうやって弱点をつぶして聞きやすくなった教材を、しばらく「聞き流して」行くと、さらにいろいろなことが定着しますよ。

Q26 英語の音楽を聞き取る時のコツはありますか？

A26 残念ながら、特にないと思います。日本語でもそうですが、基本的に歌の歌詞は聞き取りにくいものなんですよ。日本語でも同じです。以前、とある曲で「太陽に沿って歩いて……」と聞こえる歌詞があったのですが、「熱くないのかなあ」などと呑気なことを考えていたのですが、教え子の学生たちとカラオケに行ったときに、それが「2人寄り添っ

て歩いて……」だったことを知って愕然としました。

歌詞を聞き取ろうとするより、歌詞を見ながら同じように歌えるようにする方が、「教材」としての「歌」の活用方法としては良いのではないかと思います。

Q27 洋楽を聴くことは英語の勉強になりますか？

A27 そうですね、基本的にはなると思います。私も 1950 年代から 60 年代のアメリカンポップスを聴いて、歌詞を書き取って（当然全部は分かりませんでした。当時はネットもありませんので、分からない部分はずいぶん長い間そのままでした）、一緒に歌うことで、英語力をかなり伸ばしましたよ。

ただ、最近の曲は、ジャンルによってはかなり汚い言葉遣いをしていることもあるので、そういう曲はいかに名曲であろうとも、「英語の教材」としてはかなり偏りがあると言わざるを得ません。そのあたりに注意が必要ではありますね。

Q28 リスニングがどうしても苦手です。長い文になるとだんだん話が分からなくなります。どうしたらいいですか？

A28 英文が短ければ聞き取れるのだとしたら、リスニング力そのものではなく、頭の中で英語を処理する速度が十分ではない、という可能性があります。ひょっとして、リーディング速度もあまり速くないのではありませんか？「英文を読む」ことが、ひょっとしたら壁を破ることにつながるかもしれません。試してみてください。

Q29 聞き取りながら場面場面での出来事を頭の中で整理すること。
リスニングは頭の中で訳しながらしてますか。それとも英語のまま理解すべきですか？

A29 ヴィジュアルイズ、という手法があるのですが、これは聞いたことを頭の中に映像として思い浮かべる方法です。母語である日本語では、自然にできていると思います。これを英語のリスニングでも活用すると良いですよ。

日本語を聴いているときに、何語で理解しているかを意識しないのと同様、「英語のまま理解」というよりはイメージとしてとらえていますね、私は。

これはリーディングの際も同じで、頭に残るのはその内容で、「何語で読んだか」は忘れていくこともあります。私は日本語の新聞と英字新聞の両方を読むのですが、どちらに載っていた記事なのか分からなくなることは、日常茶飯事です。

Q30 You Tube でアメリカ人の動画を見ています。完全にネイティブの方の英語を聴き続けていたら、リスニングの点は上がりますか？

A30 残念ながら、あがりません。赤ちゃんが母語を習得するプロセスと、すでに母語を習得した人が、外国語を習得するプロセスは違う、と言われています。

つまり、たとえ赤ちゃんが意味の分からない言葉の「シャワー」を浴びているうちに、その言葉を習得できるとしても、同じことを高校生が出来るかということ、残念ながら難しい、ということです。赤ちゃんは起きている間ずっと、耳に入る言葉を全身全霊を傾けて聴き続けますが、私たちが起きている間ずっと英語に集中して耳を傾けるのは、ちょっと

無理ですね。

もちろん、全く聴かないよりは、聞いたほうが耳は慣れます。その意味では、リスニング力は少しだけ上がりますけれども、そこまでです。

Q31 英語をペラペラに話せるようになるには？

A31 この辺り、ちょっと気を付けないといけないかなと思います。

何のために英語を学ぶのかと言ったら、最初のうちはもちろん「おしゃべり」が楽しめるためでも構いませんが、それなら英会話学校に行っても良いはずです。

高校や大学で英語を学ぶ場合、単なるおしゃべりにとどまらず、ある程度知的内容があることをやり取りできるようにする、ということも目的になってくるわけです。つまり、「英語の勉強を通して、自分の知的世界を広げる」ということですね。

となると、単に「ペラペラ」と口が動くだけで、話の中身まで「ペラペラ」では仕方がない、ということになります。「ペラペラ」という夢を抱くのは構いませんが、そもそも何を持って「ペラペラ」というのか、という点も掘り下げて考える必要があります。

私個人としては、「ペラペラ」は、日本人の英語学習者にとって、最優先事項だと思えないのですよ。むしろ多少たどたどしくても構いませんが、「正確で」「分かりやすく」「礼儀正しく」「失礼にならない」話し方が出来るように心がけるべきでは、と思います。

たとえば日本語を学んでいる外国人が朝の挨拶のやり方を勉強しているとします。最初はやはり「おはようございます」から学ぶべきだと思いませんか？流暢に「ウィッス！」と言えたところで、そこにどれだけの意味があるのか、と私は思います。

「崩す」のはいつでもできますよ。まずはしっかりと「型」を身に付けましょう。

Q32 日本にいて、少しでも英語を話すことが出来るようになるには、どうすればいいですか？

英語がとても苦手な人がしゃべれるようになるために、最初は何から始めたらいいですか？

A32 すでにお話ししましたが、まずはいろいろなことに興味を持って、「話したいこと」をたくさん持ってください。そのためには、英語以外の教科も大切になってきます。「知のアンテナ」とでもいうものを、どんどん大きくして、感度も高めて行きましょう。

いろいろなことを学んでいくと「話したいこと」も自然と増えてきます。それをどう英語で言うのかを考えて、自分なりにあれこれ言ってみてください。それを先生に聞いていただいて、より良い言い方を教えてもらいます。その言い方を覚えておいて、次にはよりスラスラと話す。このプロセスの繰り返しですね。

そういう視点を持つと、英文を読んでいても、新しい文法事項を学んでいても、「あ、これは〇〇と言いたいときに使えるな！」と思えて、学習にも力が入りますよ。

Q33 音読が一番大切ですか？

A33 「何において」という部分の情報がないので、何とも答え難いところですが、一つ言えることがあります。語学学習は「あれかこれか」ではなく「あれもこれも」です。

どうも日本の英語教育には「流行」のようなものがありまして、数年前に「シャドウイ

ング」が流行った時も、「何が何でもシャドウイング」「シャドウイングをしておけば、後は何もしなくても良い」みたいな風潮がありました。もちろん、そんなことはありません。

音読も、発音の定着や音声変化の定着、英語の構文をしっかりと身に付けるなど、様々なメリットがあるのですが、何も考えずに音読「だけ」を「漫然と」したところで、大した効果は望めません。

少林寺拳法という武道に「理を知り、数をかける」（正しいやり方を知って、反復練習をする）という言葉があると聞きました。音読に関しても同じことが言えますし、英語学習そのものにも当てはまると思いますよ。

Q34 物語や長文を理解しながら最後まで速く読めるようになるにはどうしたらいいですか？またポイントは？

長文を読むときに最後まで集中して読めないのはどうしたらいいですか？

A34 リスニングの質問に対する回答にも書きましたが、「頭の中で英語を処理する速度」が遅いということなのでしょうね。これはそれこそ「学習の量」がかなり左右することなのですが、いくつか試してみてほしいトレーニングがあります。

まず、多読です。授業で配られる副読本、ありますね。あれが難しければ、**Graded Reader**などで、さらに易しい英文を大量に読んでみてください。高校受験用の長文問題でも構いません。1日に1冊ぐらいのペースで。逆に、そのぐらいのペースで読めるほどやさしい本を選ぶのがコツです。

もう一つは、リーダーの教科書などを使う方法です。まず、普通に授業を受けて、内容や文法事項などを確認します。そのうえで、付属CDを聴きながら、同じスピードで英文を読んでください。音読と黙読なら、黙読の方が圧倒的に速いはずですが、試してみると結構振り落とされそうになるのではないのでしょうか。余裕をもって読めるようになるまでトレーニングしてみましょう。

Q35 日本語訳する際に、訳した日本語が日本語として成り立たないことが多く、文脈を取り違いやすいのですが、日本語訳がうまく出来るようになるにはどうすればいいですか？

A35 ストレートに言ってしまうと、「読めて（理解できて）いないので、当然訳せない」ということになります。まずは文を正確に理解することですね。

単なる「おしゃべり」のような内容ならともかく、ある程度知的レベルの高い内容の文章は、文法知識がないと、文の構造（どの単語がどの単語を修飾している、など）を理解できません。文法の勉強は、一見、無味乾燥に思えるかもしれませんが、書き手の気持ちを細かいところまでくみ取るうえでは、とても大切なことですよ。

そして「訳す」というのは、「別の言語で『置き換える』」のとは違うことも、どうぞお忘れなく。「この言語なら、このメッセージをどう言うかな」と考えてみましょう。

たとえば、**Good morning.**をどう正確に「置き換えて」も、「良い朝」にしかありませんよね。でも、英文をしっかりと「理解」して、その英文が表すメッセージを考えてみる。すると、「挨拶をしたい。シチュエーションは朝か午前中」となります。そのメッセージを日本語で表現するとどうなるか、と考えるからこそ、「おはようございます」という訳が出来

るんですよ。「Good morning.は『おはようございます』と訳す」という公式のようなものを延々と暗記して、それにあてはめているわけではないのです。

Q36 翻訳技術が発達している現在において英語を学ぶ意味とは何ですか？

A36 「役に立つか立たないか」という観点を脱却することが大切だと思います。だって、日本に住んでいる限り、英語なんて日常生活で使わないでしょう。役には立たない。それなら学ぶ意味がないのか……という、やはりそういうことにはなりません。

これは高校で学ぶ他の教科もそうですが、自分の「知のアンテナ」をより大きく鋭敏にし、「いろいろなことをより多く知って、よりよく考えて、より意味のある行動する」ために、義務教育を終えた後も学び続けるわけです。

通訳・翻訳に関しても、自動通訳機・自動翻訳機が発達は目覚ましいものがありますが、通訳・翻訳を学ぶことで、日本語と英語の違いと共通点が深く理解できますし、日本語だけでは得られない情報も得られます。

何よりも、翻訳されたものを読むという行為は、翻訳をした人間なり機械なりを通した間接的経験なわけですよ。英語を学んで、自分で直接経験できた方が、より楽しいと思いませんか？

「これだけ写真やネットが発達していて、部屋から一歩も出なくてもいろんなものが見られる現在において、旅行する意味とは何ですか？」という質問は、あまりしませんよね。直接的な体験がもたらしてくれる楽しみというのは、そのぐらい大きなものですよ。

Q37 通訳の仕事を選んだ理由は？

A37 消去法、ですね。私は大学で2回も留年していたので、まともな就職はできないと思っていて（実際はそうでもなかったんですが）、また就職活動も面倒くさいなあ、などとモノグサなことを考えておりました。

で、教える仕事は好きだったのです。大学1年生の時から進学塾で教えていましたから。でも、中学校や高校で教えるのには教員免許が必要で、それ取得するための「教職課程」からは、とっくに落ちこぼれていました。

外交官になろうかなあと、ちょっと思ったこともあったのですが、採用試験の問題を見て、こりゃとても歯が立たん、と挫折。

自分の持っている力で、何とか社会で通用する可能性のあるものは、と考えると「英語力」ぐらいしかないし、その中で面白そうなものは、と考えた時に浮上したのが、「通訳者」という職業でした。もちろん、そんなに簡単にはなれませんでしたけれどもね。

Q38 同時通訳者になるためには、どのようなスキルを身に付ければよいか。また身に付ける方法。

A38 英語力と日本語力と知識量です。

英語力に関しては、資格試験で測れないレベルまで持って行くのが基本です。TOEICで言えば950点以上、英検なら1級が、スタートラインにつくための条件だと思います。実際には、通訳学校に通うプロの卵たちの中にも、そこまでの英語力がない人もいますが、英語だけでできれば良いというわけではないので、英語以外の部分にもエネルギーを傾ける

余裕を生み出すためにも、英語力が高いにこしたことはありません。

いつまでも「英語『を』学ぶ」という状態にいないで、早いところ「英語『で』学ぶ」ようになりましょう。つまり、英語で新聞を読んだり雑誌を読んだり、ニュースを仕入れたり、意見を交換したり、メールをやり取りしたりする、ということです。

しかし、意外と見落とされがちなのが日本語力です。母語が日本語で、毎日を日本語環境の中で暮らしているのだから、十分な力があると思いがちですよね。でも、日常生活に必要な日本語力は、思ったより高くはありません。

もっと知的な内容を理解し、発信する力をつけてください。

そのためには、まず本を読むことです。入り口としては単なるエンターテインメント系の本やネット小説でも良いですが（私も気晴らしにネット小説を読みますよ）、目安としては新書を1週間に1冊ぐらいは読んで、重要なところに線を引っ張って、内容について誰かに話す、もしくはブログなどで発信してみることを進めます。

読む、というインプットだけで終わらず、話すまたは書くという「アウトプット」にまでつなげるのがポイントです。

また、良い日本語にもたっぷり触れましょう。文学作品なども読んでみてください。10ページぐらい読んで面白くなければ、どんどん次の作品に行きましょう。そのうち夢中で読む作品に巡り合えます。何だったら、文学作品を漫画化したものでも良いですよ。

最後の知識量に関しては、読書でかなりカバーできますが、それだけではなく、博物館や美術館に行ったり、映画を観たり、工場見学に行ったり、旅行に行ったり、ボランティア活動をしてみたりと、いろいろな体験もしてみてください。

通訳には「試験範囲」というものはありません。どんなものを通訳させられるかは分からないのです。ですから「そんなことには興味はない」という言葉を封印して、何にでも無理やりにでも興味を持って、面白がりながら首を突っ込み、いろいろと吸収していきましょう。

Q39 通訳の仕事をしていて面白いことや、やりがいを感じることは？

A39 放送通訳でニュースの通訳に関わっていると、世界が動いて行くのを肌で感じられるのが面白いことですね。そして、紛争地帯で暮らす人たちの「心の叫び」を伝えるようなリポートは「これは何としても日本の視聴者の皆さんに伝えて、考え、行動につなげて行ってもらわなければ！」と思って燃えます。

あとはそうですね、「お役に立てた」ということに、やりがいを感じますね。イギリスに留学していた頃、地元の小学校に通っていた日本人の3人のお子さんのボランティア通訳をしたことがあります。智幸先生、授業の内容が初めて分かった！と目をキラキラさせながら言われた時には、「ああ、いろいろ大変なこともあったけど、この瞬間のために、俺、今まで頑張ってきたんだなあ」って思いましたよ。

Q40 私も通訳の仕事に興味があります。

A40 ぜひ後に続けてください！ It's a very challenging job, but it's also a very exciting job. いつか、一緒に通訳ブースに入りましょうね。応援しています！

Q41 英語はどのようなところが面白いと考えますか？

A41 自分の知らない世界を知ることが出来ることですね。そして、日本語だけしか分からなかったら語り合えなかった人と語り合い、思いもよらなかった考え方に触れることができて刺激的だからです。

Q42 英語を楽しむためにはどうすればよいですか？

どうしたら勉強意欲がわきますか？

英語が得意になるには？好きになるには？

どうしたら集中力が付きますか？

A42 まず、英語を無理に好きになる必要はないと思いますよ。ほかに好きな教科があったり、打ち込みたいスポーツがあったりするのであれば、英語以外の道を突き進むのも当然「アリ」です。

今までの Q&A を通して、英語力をつけるためにどう努力すればいいのかという方法論はお伝えしてきました。しかし、それをどこまでやるのかというの、最終的には「自分はもうどう生きたいのか」という哲学的な問いにまで行きます。

今の日本、家族を支えないといけない、ということでもない限り、よほどのことがなければ餓死するようなことはありません。贅沢はできないかもしれないけれど、「健康で文化的な最低限度の生活」を何とか送って寿命を全うすることは、特に夢物語でもなんでもありません（もちろん、もしそういうことすら難しいならば、必死になって勉強して人生を切り開くしかないわけですが）。

「とりあえず生きて行く」ことはできるという前提条件のもと、「自分はもうどうすることで充実感を感じられるのか」「自分にとって、後悔しない人生とはどういうものか」ということをじっくり考えるのも、高校時代からやっておくべきことだと思います。

「自分の人生のイニシアチブを、自分で握っていない」「『やらされている感』しか感じられない」のであれば、勉強の意欲もわかないですし、集中も出来ないでしょう。

でも、厳しい言い方をすれば、それは「自分の人生を人任せにしている」ことの代償なのです。「どう生きるか。そしてその中で英語学習とどう付き合うのか」という問いは、かなり重いものですが、しっかり向き合って自分で答えを出してみましょう。しばらくしてから気が変わっても、全くかまいません。

自力で答えを出すこと。人のせいにしないこと。そうすることで、見えてくるものがあるはずですよ。

Q43 高校生の時に、志望校を上智大学にした理由は何ですか？

A43 今にしてみると浅い考えなのですが、英語が学びたかったからです。国立の東京外語大学も考えたのですが、私は理数系科目が壊滅的だったものですから、英語教育で有名な私立大学の中で、当時一番レベルが高かった大学を選びました。

でも、「英語を学びたい」ということも、具体的にどんなことを、という部分をもっと掘り下げておくべきだったなあとと思いますね。そうすれば、入学早々失速して2回留年、という事態にも陥らなかったかもしれません。まあ、あくまで結果論ですけども。

Q44 夢はありますか？

なぜ夢を追い続けることができたのですか？

A44 ある意味、恋愛と同じかもしれません。不倫とかそういう反社会的なものはもちろんアウトですが、それ以外は基本的に、「好きになっちゃったんだからしょうがない」、という部分もあるじゃないですか、恋愛って。夢も同じで、「叶うかどうかなんて、どうでもいい。たとえ叶わないにしても、俺は夢に向かって突き進むぜ」って気持ちになってしまうのです。

理屈じゃないんですよ。だから、なぜそこまで思えたのか、一度はあきらめたのに、再び「通訳になる」という夢を追い始めたのかも、上手く説明できません。とにかく、やってみたかった、としか言えません。

そんなものを、高校時代に見つけてみるのも、楽しいのではないのでしょうか。

Q45 いつから進路を決めていましたか？

イギリスに行くことに不安はなかったのですか？

将来のことなどで悩んだり迷ったりしたことはありますか？そんなときに支えになった言葉やエピソードを教えてください。

A45 「通訳者になる」ということは大学3年ぐらいに決めていたのですが、決めた進路にすんなり進めずに悩んだわけで、通訳学校に通ってもうまくいかないし、一度も留学したこともないのがコンプレックスでしたし……。

そんな中に突然「イギリスの大学院に留学しないか」という話があったわけです。もう、「留学する」という思いしかありませんでした。不安はありましたが、それは留学そのものに対する不安ではなく、1年間の留学期間の間に、学ぶべきものを吸収ききれないのではないか、手ぶらで日本に戻ることになるのではないか、という不安でした。

大学入学直後からいろいろと「つまづいていた」私ですが、父の「人生っていうのは、敗者復活戦の連続だ」という言葉を思い浮かべながら、失敗や挫折から何とか立ち上がっていましたよ。

Q46 音大に進学する人は、どのぐらい英語を勉強していますか？

A46 うーん、それを調べることも、「受験勉強」のうちだと思いますよ。本気で音大に進学したいのであれば、いくらでも調べられるはず。頑張ってください！

Q47 留学の経験は、どんなことに生かせばいいですか？留学のメリットは何ですか？留学後に将来の目標を定めるのは遅すぎますか？

A47 どんな経験でも、活かしようはありますよ。たとえ失敗からでも、学ぼうと思えば学べます。かなり貴重な教訓をね。あまり表面的な「成功、失敗」「メリット、デメリット」で考えない方が良いかな、と思います。

留学は一度きりと考えることもないわけです。レベルが上がるにしたがって、一口に「留学」と言っても、その目的は様々変わるわけですから。たとえば私が留学したのは、「英語を学びたい」からではありませんでした。

ですから、留学後に新たな目標が生まれることも、普通にあると思います。それに向け

てまた勉強したり、留学したりすれば良いわけですね。

Q48 イギリスに来て良かったなと思うことは何ですか？

A48 英語そのものは、留学前に英検 1 級、TOEIC955 点などを取っていましたので、留学して英語力がものすごく伸びたという感覚はありません。

でも、文化や習慣など、本で読んだことはあるけれども、実際にその場にいないと実感できないものを、たっぷりと体験できたのは良かったです。英語という言語を支えるものが何なのかが、少しわかってきました。

Q49 Should we know English songs to communicate with foreign people?

A49 It's not a "MUST", but it helps you a lot!

Q50 小学校で英語が教科化される動きについてどう感じますか？

A50 日本人の英語力を最終的にどのレベルまで持って行きたいのかは分かりませんが、同時通訳者程度で良ければ、別に小学校から始めなくてもなれると思いますけれども。

日本の英語教育の問題は、教材でも指導方法でも教師の資質でもなく、学習者が英語学習の必要性を十分認識しておらず、したがって学習意欲が低すぎるのだと思います。

また、せっかく教科化するのであれば、しっかりした指導者を育成すると良いのではと思います。うまく導入できれば、とてもいい形で英語学習のスタートが切れるはずですよ。

Q51 日本で教えられる英語は海外で通じますか？海外の人と円滑にコミュニケーションが取れますか？

日本の高校の授業で学ぶ堅い英語は、英語圏で実際に役立ちますか？

A51 心配ご無用です。とても役に立ちます。ただ、それを実感することは、高校生の間はあまりない「かも」かもしれません。

というのも、高校生ぐらいであれば、海外で英語を使う必要があると言っても、

「〇〇っておいしいよねえ」「私も大好き！」

「俳優の××さん、カッコいいなあ」「あー、どうして結婚しちゃったんだろう」

というようなことがメインの話題になるのではないのでしょうか。

この程度であれば、そんなに難しい語句を知っている必要もなく、文法的に生活ではなくても、笑顔でニコニコやっていれば、十分通じます。

でも、いつまでもこういう「雑談」ばかりでは飽きてくるわけですよ。もっと内容のあることをやり取りしたくなります。

たとえば「どうしてあの独裁者は、最終的には破滅することが分かっているのに、あんなことをしたんだろう」「でも、俺たちだって、『これをやったらまずいだろうなあ』と思っても、やらかしちゃうことはあるよなあ。ということは、独裁者と俺たちのメンタリティーって、思ったよりも近いのかも……」などという話をするとなると、高校で学ぶような礼儀正しくて重厚な英語が大変役に立ちます。

短期留学先で「堅苦しい話し方だなあ」と苦笑されても良いじゃないですか。「友達口

調」なんか、すぐ身に付けられますよ。でも逆は大変です。ですから、まずは高校の授業を通して、きちんとした英語を覚えましょう。

Q52 今の小・中・高の英語教育に違和感を覚えます。どうお考えですか。

A52 違和感、というほどのものではないですけども、もったいないなと思うことはありますね。基本的に、ゼロクリアなんです。それまでの教育方針の足りない部分を補うのではなく、それまでの方針を全否定してから、全く新たなものを導入しようとするのです。これは壮大な無駄だと思います。

その一方、それで何とかなる程度に（もちろん、現場の先生方のご苦労はいかばかりかと思いますが）日本人にとって英語の必要性は下がったのだなあ、と。

以外に思われるかもしれませんが、英語をはじめとする西洋言語が出来なければ、高等教育すら受けられなかった明治初期より、英語の必要性は下がっていますよ。何しろ、夏目漱石が英語で書いた、物理学の答案用紙が残っているほどです。

つまり、英語教育そのものにも問題はもちろんあると思いますが、それは学習者のモチベーションなどで十分カバーできる範囲かと思います。

Q53 若いうちに絶対にしておいた方が良いことは？

A53 思い切り挑戦して、失敗しておきましょう。あと、挫折もしておきましょう。若ければ若いほど、傷は浅くて済みます。

大学で学生諸君と接していても、何か年より臭いと言いますか、「ミスを犯さないようにしましょう」という姿勢ばかりが目につくのです。ミスをしない最善の方法って、なんだか分かりますか？

何もしないことです。

……それで良いんでしょうか。何だか心配になります。自分の人生についての「正解」は自分が作るんですから、「どう生きるのが『正解』なんだろう」とビクビクしすぎて仕方がないですよ。

Q54 大人になって人生が転落した場合、どうすればいいですか？

A54 「いいよいいよ。大変だったね。もう、ずっとそこで休んでなよ」などと言うと思いますか？そんな呑気に構えている場合じゃないでしょ？そりゃ、這い上がろうとするんですよ、必死に。

結局ダメかもしれないけれど、でも、命ある限り、ギリギリまであがき続けるんです。それが「誠実に生きる」ってことじゃないですか？この世に生を受けた以上、そして、現代日本という、世界的に見ればだいぶ恵まれた環境に生まれてきた以上、死ぬまでは精一杯生きるのです。疲れたら休んでも良いけれど、あきらめない。

自分を救えるのは、最終的には自分だけです。自分が最初に白旗を掲げてどうするんですか。

私だって、決して格好のいい人生じゃありません。でも、それは自分なりの限界って言うものがあるんだから、もう仕方ないです。でも、格好悪いなら悪いなりに、精一杯力をつけて、人生を最大限に楽しみ、出来る限り人様のお役に立って行きたいと思っています。

よ。みなさんはどうですか？

まあ、最後はちょっと辛口になりましたが、英語学習を通していろんなことを知り、考え、タフに生き抜いていただければ、私としては本当に嬉しいです。

疲れたら休んでいいんですよ。でも、投げ出しちゃいけません。全力で頑張って、力が及ばなくてもいいんですよ。でも、失敗の言いわけ、努力をしない言いわけを探すだけのむなしい人生を送るなんて、もったいないことです。

せっかくの人生です。一緒に完全燃焼していきましょう！

以上です！ほかにも質問があれば、お気軽にお寄せください！